

< 集落営農と耕畜連携による集落の活性化を図っている事例 >

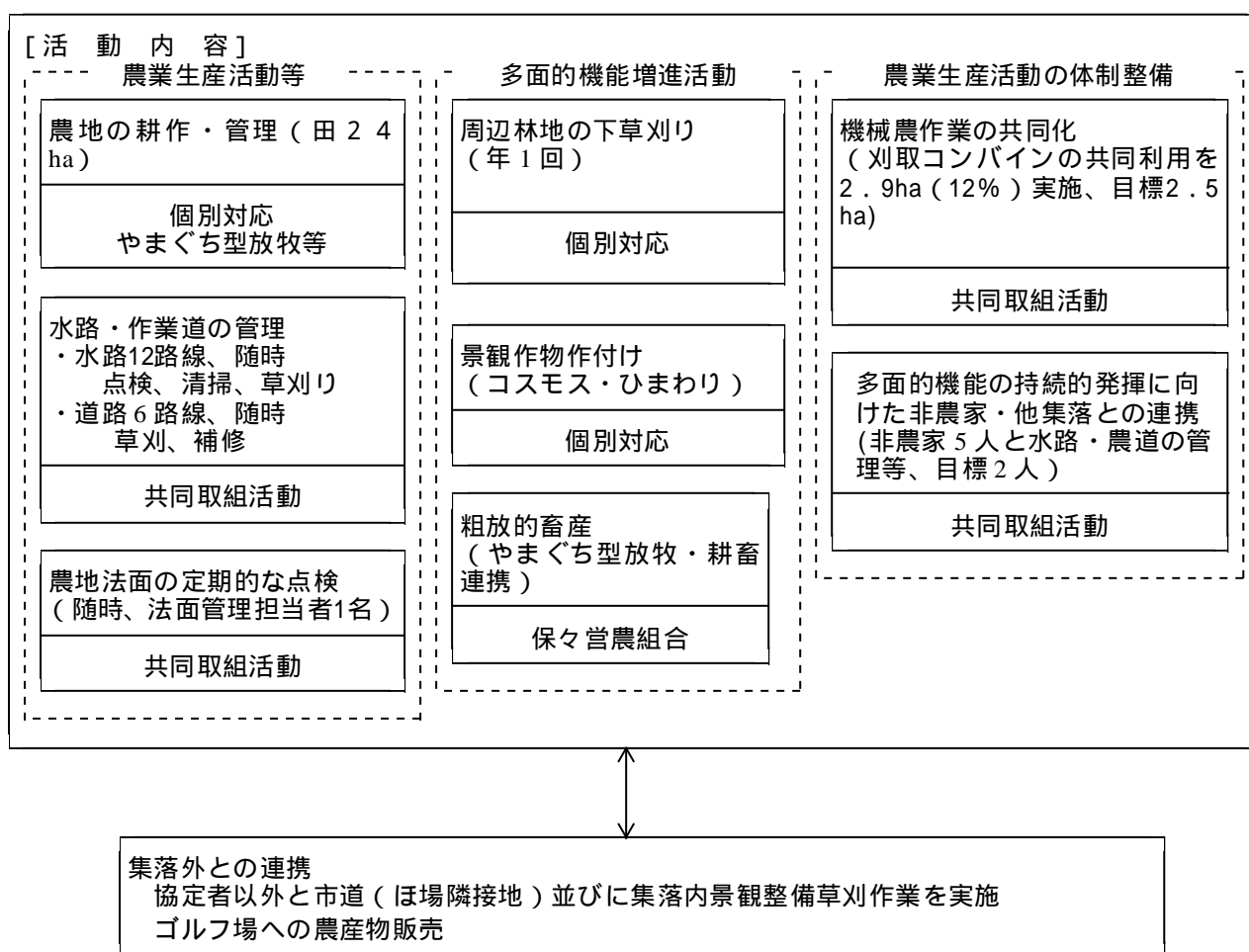
集落営農と耕畜連携による集落の活性化

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県美祢市豊田前町 9 区			
協定面積 24ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻等			
交付金額 355万円	個人配分			49%
	共同取組活動 (51%)	役員報酬・会議費		8%
		研修費(法人化講習会等)		7%
		鳥獣害対策費		9%
		農地・水路・農道管理費		6%
共同機械購入費・施設管理費			21%	
協定参加者	農業者 19人、水利組合			

2. 集落マスタープランの概要

農業生産活動において、刈取(コンバイン)を共同機械利用とし、平成 21 年度には目標面積である 2.5ha の実施を行う。また、耕作放棄されそうな農地については、やまぐち型放牧(保々営農組合実施)等耕畜連携し維持管理していく。尚、集落協定に参加する農業者で農業生産法人の設立を視野に入れる。



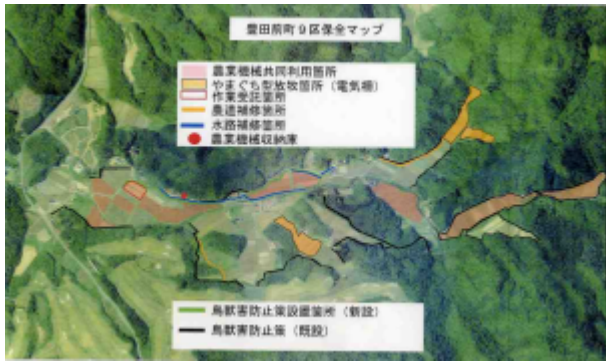
3. 取組の経緯及び内容

平成12年から制度に取り組んできたが、過疎化・高齢化が進み耕作が困難になる可能性のある農地が出てきた。そこで耕作できなくなった農地の受け皿になるとともに、農業機械の共同化を進め経費の削減を図るために、平成18年4月に協定参加者19人全員で、保々営農組合を設立した。組合では、専業農家を中心に交付金で購入したコンバイン等で集落内農地の農作業や飼料作物作付け及びやまぐち型放牧（水田放牧）を実施し、耕作放棄の防止に努めている。

また、農地・水・環境保全向上対策を利用し、河川の清掃によるほたるの生息地確保や、農地を利用して生態系保全（メダカの生息）などにも取り組んでいる。

今後の活動として、地域特産物（翠王）の栽培とゴルフ場への農産物販売の更なる拡大並びに保々営農組合の法人化（法人講習会受講中）を検討している。

農用地等保全マップ



【マップの解説】

猪等による農作物の被害を防止するため新設箇所及び共同機械利用箇所並びに耕作放棄防止の為の耕畜連携箇所をマップで示すことで、集落のどなたが見られてもわかり、進捗状況も確認出来るマップとなっている。



共同機械（コンバイン）利用状況



やまぐち型放牧状況

[平成19年度までの主な効果]

集落での大型機械（コンバイン）の共同利用による営農の効率化・低コスト化（当初0ha、目標2.5ha、H18実績2.9ha）

非対象農家との連携（当初0名、目標2名、H18実績5名）

・市道（ほ場隣接法面）草刈作業・集落内景観整備草刈作業

やまぐち型放牧（飼料作物作付）による耕作放棄の防止（当初0ha、2ha(H18)、4ha(H19)）

農産物の販路（隣接ゴルフ場へ）

・米、野菜等（食堂、賞品用）